

2021年9月27日  
新幹線鉄道事業本部

## 山陽新幹線 保守基地の新設について

山陽新幹線には、保守作業に使用する保守用車の留置、工事材料の保管等を行うための保守基地が現在 13 か所ありますが、効率的な保守作業を目指して、姫路～岡山間の保守基地新設工事を進めてまいりました。

このたび、運用開始日が決まりましたのでお知らせします。

### 1. 概要

- (1) 名称：帆坂（ほさか）保守基地（兵庫県赤穂市）  
※姫路保守基地～岡山保守基地間
- (2) 運用開始：2021年10月1日
- (3) 用地面積：約 23,900 m<sup>2</sup>
- (4) 留置線総延長：約 1,600m



主な設備	用途
移動式門型クレーン	資機材の積込・取卸
バラスト積込設備	バラスト交換時に使用
検修庫	保守用車の検査実施
給油設備	保守用車への給油



保守基地 全景

### 2. 保守基地新設による効果

- (1) 効率的な保守作業が可能
  - ・移動に要する時間が短縮されるため、現行と比較して最大約 3 倍(約 60 分→約 180 分)の作業時間が確保でき、大型保守用車による効率的な保守作業が可能
- (2) 新幹線の安全・安定輸送の確保
  - ・自然災害等発生時の点検・復旧のための拠点となり、早期運転再開が可能
  - ・逸脱防止ガードを計画的に敷設でき、地震発生時の減災対策を推進
- (3) 労災防止や働く人の環境改善
  - ・大型保守用車の活用による保守作業従事者の労働負荷の軽減

今回ご案内の取り組みは、SDGs 目標の 8 番、9 番、11 番に貢献するものと考えています。

